

# 一体で課題解決へ

## 「JS・真庭市」を振り返る



松山氏

日本水道協会(JS)の「JS・真庭市」が、今年5月に開催された「JS・真庭市」の報告会を報告する。報告会では、真庭市が「JS・真庭市」を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

## 出席者

- 松山 幹夫氏 (JS代表理事)
- 中西 輝氏 (真庭市長)
- 池田 敏浩氏 (真庭市水道部長)
- 寺尾 直樹氏 (真庭市水道部課長)
- 茶谷 素史氏 (真庭市水道部課長)
- 小林 将大氏 (真庭市水道部課長)

松山氏 今年4月、近畿・関東・中部・中国・四国・九州の各地方から、水道関係者の皆様、真庭市関係者の皆様、JS関係者の皆様、ご参加いただき、大変盛況でした。JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

中西氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

池田氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

寺尾氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

根拠に基づき真剣に議論を：松山市町村に本気になってもらう...中西

中西氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

市町村に本気になってもらう...中西

中西氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

自分のお金と考え経費節減...池田

池田氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

維持管理面でも成果が...青龍

青龍氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

経営者目線から

松山氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

経営者目線から

松山氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

経営者目線から

松山氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

経営者目線から

松山氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

経営者目線から

松山氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

経営者目線から

松山氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

経営者目線から

松山氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

経営者目線から

松山氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

経営者目線から

松山氏 真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。真庭市水道部では、JS・真庭市を通じて、水道事業の改革を推進し、市民サービスの向上を図ったことについて、報告が行われた。

# 県・市町村・JSの三位



懇談会に参加したメンバー

「水」が持つ価値は、地域社会の発展に不可欠な要素である。水道事業者は、単に水を供給するだけでなく、地域の発展を支える役割を担っている。今回の懇談会では、県・市町村・JSの三者が一堂に会し、今後の連携強化について話し合った。

懇談会では、まず水資源の確保について話し合った。水資源は有限であり、持続可能な形で利用することが求められる。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水資源の確保に取り組む必要がある。

次に、水道事業の経営について話し合った。水道事業は公益的であるが、持続可能な経営を行うためには、収益性の向上が求められる。県・市町村・JSは、経営の効率化やサービスの向上に取り組む必要がある。

最後に、今後の連携強化について話し合った。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水道事業の発展に取り組む必要がある。具体的な連携強化策として、情報共有の促進や共同事業の実施などが挙げられる。

懇談会では、まず水資源の確保について話し合った。水資源は有限であり、持続可能な形で利用することが求められる。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水資源の確保に取り組む必要がある。

次に、水道事業の経営について話し合った。水道事業は公益的であるが、持続可能な経営を行うためには、収益性の向上が求められる。県・市町村・JSは、経営の効率化やサービスの向上に取り組む必要がある。

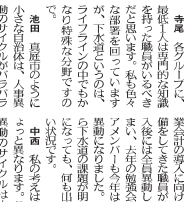
最後に、今後の連携強化について話し合った。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水道事業の発展に取り組む必要がある。具体的な連携強化策として、情報共有の促進や共同事業の実施などが挙げられる。

懇談会では、まず水資源の確保について話し合った。水資源は有限であり、持続可能な形で利用することが求められる。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水資源の確保に取り組む必要がある。



小林氏

水資源の確保は、地域社会の発展に不可欠な要素である。水道事業者は、単に水を供給するだけでなく、地域の発展を支える役割を担っている。今回の懇談会では、今後の連携強化について話し合った。



茶谷氏

水道事業の経営は、公益的であるが、持続可能な経営を行うためには、収益性の向上が求められる。県・市町村・JSは、経営の効率化やサービスの向上に取り組む必要がある。



松本氏

今後の連携強化は、情報共有の促進や共同事業の実施などが挙げられる。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水道事業の発展に取り組む必要がある。

## 経営の視点で事業を考える…茶谷

### 利益と収支のバランスが問題…小林

「水」が持つ価値は、地域社会の発展に不可欠な要素である。水道事業者は、単に水を供給するだけでなく、地域の発展を支える役割を担っている。

今回の懇談会では、今後の連携強化について話し合った。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水道事業の発展に取り組む必要がある。

具体的な連携強化策として、情報共有の促進や共同事業の実施などが挙げられる。

懇談会では、まず水資源の確保について話し合った。水資源は有限であり、持続可能な形で利用することが求められる。

次に、水道事業の経営について話し合った。水道事業は公益的であるが、持続可能な経営を行うためには、収益性の向上が求められる。

最後に、今後の連携強化について話し合った。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水道事業の発展に取り組む必要がある。

具体的な連携強化策として、情報共有の促進や共同事業の実施などが挙げられる。

懇談会では、まず水資源の確保について話し合った。水資源は有限であり、持続可能な形で利用することが求められる。

次に、水道事業の経営について話し合った。水道事業は公益的であるが、持続可能な経営を行うためには、収益性の向上が求められる。

最後に、今後の連携強化について話し合った。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水道事業の発展に取り組む必要がある。

具体的な連携強化策として、情報共有の促進や共同事業の実施などが挙げられる。

懇談会では、まず水資源の確保について話し合った。水資源は有限であり、持続可能な形で利用することが求められる。

次に、水道事業の経営について話し合った。水道事業は公益的であるが、持続可能な経営を行うためには、収益性の向上が求められる。

最後に、今後の連携強化について話し合った。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水道事業の発展に取り組む必要がある。

具体的な連携強化策として、情報共有の促進や共同事業の実施などが挙げられる。

懇談会では、まず水資源の確保について話し合った。水資源は有限であり、持続可能な形で利用することが求められる。

次に、水道事業の経営について話し合った。水道事業は公益的であるが、持続可能な経営を行うためには、収益性の向上が求められる。

最後に、今後の連携強化について話し合った。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水道事業の発展に取り組む必要がある。

具体的な連携強化策として、情報共有の促進や共同事業の実施などが挙げられる。

懇談会では、まず水資源の確保について話し合った。水資源は有限であり、持続可能な形で利用することが求められる。

次に、水道事業の経営について話し合った。水道事業は公益的であるが、持続可能な経営を行うためには、収益性の向上が求められる。

最後に、今後の連携強化について話し合った。県・市町村・JSは、それぞれが持つ役割を認識し、連携して水道事業の発展に取り組む必要がある。

具体的な連携強化策として、情報共有の促進や共同事業の実施などが挙げられる。